

大学生のための資格業ガイダンスー愛知学院大学にてー

日 時：令和6年6月10日（月） 12：00～16：00

場 所：愛知学院大学名城キャンパス アリスタワー1階スペース

6月10日に愛知学院大学名城キャンパスで開催された「大学生のための資格業ガイダンス」に出席しました。この事業は資格業9土業10団体で構成される名古屋自由業団体が年4回開催（名古屋大学、愛知大学、愛知学院大学、名城大学の4大学）しているものです。

私は、初めて参加させていただきましたが、まず、驚いたのは相談者の数でした。愛知学院大学では当事業の参加を授業の一環として行っている関係上、9土業ある資格団体から2土業以上は相談しなくてはならない形であったので、若干、強制的とまでは言いませんが、その中から自分たちで選んで相談するといったものでした。



結果的に我が土地家屋調査士へのブースにも、わずか4時間で合計31人もの学生が相談に来てくれました。（ブースは、片岡部長と私の2人のみで、もうテンヤワンヤでした…(;’▽’)休憩無し状態…(;’▽’))

授業の一環とはいえ、9土業もあるのですから、普通は弁護士、税理士や司法書士等知名度があって有名な資格を選んでも良さそうところ、わざわざ土地家屋調査士の資格を選択してくれた学生が多いことに、とても嬉しい気持ちになりました。

相談を受けてみると、やはり、私の担当した相談者のほとんどは、「何やっている資格ですか？ 気になってきました。」といったものでした。相談者は、2年生から4年生と幅広く相談にきてくれました。就職が決まっている学生、これから就職先を探そうとしている学生（ほぼ目星がついている学生）、将来何をしたいか全く決まっていな学生と色々でしたが、相談者のほとんどが就職先に望むものが「しっかり休日がとれる環境かどうか」でした。私も新聞やテレビ等で耳にしたことはありましたが、実際の生の声を聞いて、時代の変化を感じた瞬間でした。



しかし、学生たちは、ただ休みたいと思っているのではなく、仕事をしっかりした上で自分の時間も大切にしたいという「自己主張」の強さから来るものであり、私が学生の時に、そんな自己主張ができるほど立派な学生ではありませんでしたので、自分というものを持った良い学生たちだなと思いました。昔の歌で「近頃の若い奴らはと良く言うけれど、自分の若いころより大分マシ（良い）～♪」という歌詞がありましたけど、本当にその通りです。(;’▽’)

相談を受けた上で、私も当士業では、まだまだ若輩者ではございますが、個人事業主として独り立ちできる土地家屋調査士の魅力をお伝えしました。

「いまこそ土地家屋調査士になる良い時期」と「時間の有意義な活用」についても話してみたところ、【土地家屋調査士やバいっすね！！（とても良いとの表現です(;’∀’))】とか【土地家屋調査士の評価、爆上げっすね！！(意味としては、鰻登りと言ったところでしょうか……)】等、学生の今風の表現に、私も、つつい爆笑してしまいました。

相談内容からすると、はしゃいだ内容にも聞こえるかもしれませんが、学生たちは本当に熱心に相談に来てくれて、中には相談に集中しすぎて、他の授業の重要レポートの提出期限時間を忘れて、追試を受けることになりそうな学生もいたほどでした。

今回のガイダンスで、「土地家屋調査士になりたい」、「土地家屋調査士は魅力的な資格」と思ってくれた学生が何人いてくれたかはわかりません。まずは、どんな資格かを知ってもらい、学生から直接、土地家屋調査士の世界に入ってくることは、あまりないとは思いますが、近い将来、転職時期や人生の分岐点に立った時、「あのガイダンスの時に相談した「土地家屋調査士」を選択するのもありかも……（今風の表現でいうと）」と思ってもらえたら、広報部の一員として、嬉しい限りです。

(広報部部員 河合 宏憲)



土地家屋調査士の説明を真剣に聞く学生のみなさん